

男女共同参画Q&A

Q なぜ男女共同参画なの？

A 日本国憲法には、個人の尊重と平等がうたわれていますが、今の日本社会は必ずしも男女平等とは言えません。男女が互いにその人権を尊重しつつ、協力し合い、個性と能力を発揮することができる社会が男女共同参画社会なのです。

また、男女共同参画社会が実現すれば、男女ともに個人の可能性が広がります。

Q 「ジェンダー」って、何？

A 人間には、生まれつきの生物学的性別(セックス/sex)があります。一方、社会通念や習慣の中には、社会によって形成された「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的性別」(ジェンダー/gender)といいます。ジェンダーの視点とは、社会的性別(ジェンダー)が、性差別、性別による固定的役割概念、偏見などにつながっている場合もあり、これらが社会的につくられたものであることを意識していることとするもので、男女共同参画推進のための大切な視点です。

Q 女性教職員の割合は、どのくらい？

A 静岡県内の公立小中学校における女性教職員の割合は、以下の通りです。

全教職員	小学校 59.0%	中学校 37.0%	合計 51.0%
校長	小学校 15.8%	中学校 3.8%	
教頭	小学校 18.6%	中学校 7.6%	

(2008年度)



家事・育児 二人で協力 喜び二倍
東豆支部 牧野展子 さん

公私とも △(参画)社会で ○(丸)くいく
清庵支部 中澤里美 さん

おむすびの 大きさがう お弁当
母の手サイズ 父の手サイズ
小笠支部 宮内知代 さん

育児なし そんな男は もてません
榛原支部 水嶋久之 さん

教育は 男女手を取り 人づくり
共に歩もう 人として
浜松支部 加藤伸幸 さん

子育てを みなで応援 我が職場
東豆支部 若松綾 さん

「さん」づけで 呼び合う子ども
男女共同参画の道しるべ
沼津支部 鈴木はるみ さん

静岡県教職員組合

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館内
TEL 054-255-0156 FAX 054-255-3910

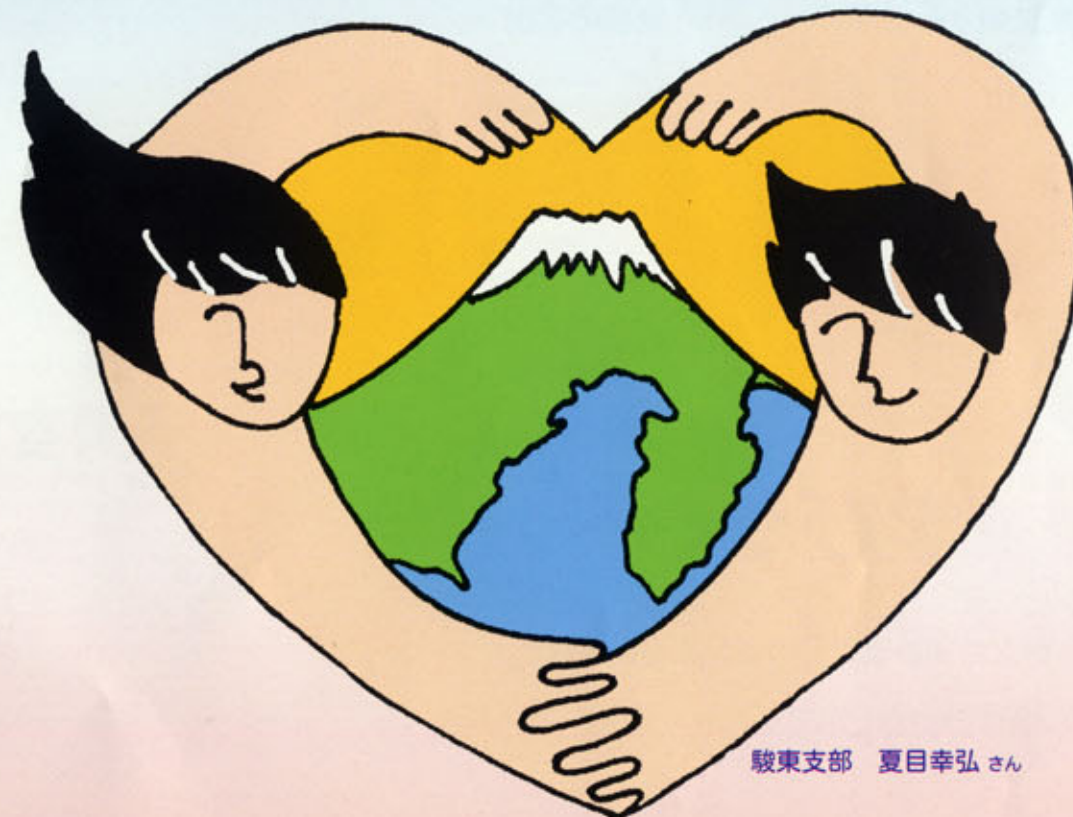
<http://www.stu.or.jp/>

静教組男女共同参画

自分らしく! あなたらしく!

2006年3月に、静教組で男女共同参画推進行動計画(第1次)を策定してから3年がたちました。

男女がともに生き生きと働ける職場づくりはすすんでいますか? 学校は、教職員が男女平等に働くことで、子どもたちに生きた男女共同参画を教える場にもなります。男女共同参画の視点で、職場を、組合活動を見直しましょう。



駿東支部 夏目幸弘 さん

「男でしょ!!」「女だから…」は もう卒業

静岡支部 小林典子 さん

静岡県教職員組合

2009年5月

男女がともに生き生きと働ける社会の実現をめざして



沼津支部 二又川隆子 さん

組織づくり

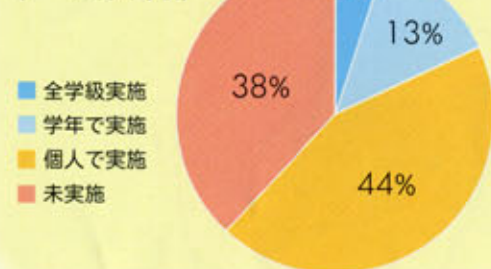
- (1) 男女の意見がともに反映されるバランスのとれた参画に努める。
 - ① 県本部・支部・分会役員等
 - ② 大会・集会・学習会・動員等参加者
- (2) だれもが各種会合や会議等に参加しやすいように、その時間や内容を見直す。



志太支部 小林香苗 さん

男女共同参画に関する授業

(2008年度調査：県内小中学校)



支部の状況 (2008年度調査：15支部)

男女共同参画推進委員会設置	3	ない12
支部大会議案への男女共同参画に向けたとりくみの記載	ある11	4



浜名支部 鈴木広美 さん

男性の育児 (2008年度調査：対象は2006・2007年度に妻が出産した男性組合員)

項目	行使した	したくてもできなかった	行使したいと思わない
育児休業	1	123	206
育児参加休暇	59	94	

学びづくり

- (1) 男女共同参画に関わる授業実践を行う。
- (2) 「両性の自立と平等をめざす教育」の分科会へ参加する。
- (3) 支部で男女共同参画推進委員会を開く。
- (4) 研修会の還流など、学習会の場を設定する。
- (5) 情宣紙などで、男女共同参画に関わる情報を提供する。

男女共同参画社会の実現

男女共同参画社会をすすめることは、**ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)**の実現につながります。



静岡支部 永田貴子 さん

職場づくり

- (1) 諸権利について学習し、職場内での権利行使をすすめる。
- (2) 母性保障や育児・介護に関する実態調査を実施し、男女が休暇を取得しやすい雰囲気づくりに努める。
- (3) 職場をジェンダーの視点で見直し、性別による役割分担をなくすとりくみをすすめる。

まずは、あなたの意識から変えましょう!